

中国茶をベースにした オリジナルのブレンドティー

オリジナルティーの 注文が増えてきた背景

日本においても、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン」が出現。いくつかの都道府県で「まん延防止等重点措置」が実施されることになり、再び経済活動に影響しかねない状況に戻ってしまいました。2021年末に新型コロナウイルス禍の収束を見越した「リベンジ消費」というキーワードが注目を集め、中国茶の出荷量もかなり回復してきた矢先だっただけに、残念な気持ちでいっぱいです。

しかし、そんな中でも新たなお茶のオーダーが入るようになりました。中国料理店を中心に、これまで日本で馴染み深かった烏龍茶、ジャスミン茶、プーアル茶など定番の中国茶に加えて、オリジナルティーを作ってほしい、との要望が増えてきたのです。



明山茶業株式会社 社長 張文昕
取締役 張文昕

1988年上海より来日。名門中国料理店の勤務を経て現在等に至る。生涯学習講師、中国茶高級評茶員。特技は卓球、イラスト。好きな食べ物は江戸屋の魚定食。

この背景には、コロナ禍が大きく影響しているようです。営業時間の短縮や消費者が外食をする機会が減っている今、繰り返しお店に足を運んでくれるリピーターを獲得することが、売上げの確保に重要。そのためには、お客様を飽きさせないよう、メニューやサービスにオリジナルティーを取り入れることがカギとなってきました。中国茶を含めたドリリンクメニューにおいても同様で、オリジナルのブレンドティーをプラスし



た店舗が増えてきたのです。

料理や客層に合わせて 組み合わせは無量大

弊社もこうしたニーズに応えるべく、長年にわたり培ってきたノウハウを生かし、オリジナルのブレンドティーを作りはじめました。中国茶とハーブやスパイス、中国茶とドライフルーツ、中国茶と中国茶などブレンドはさまざま。もちろん、店舗の希望を伺ってブレンドすることも可能です。

例えば、薬膳料理を提供する健康志向をウリにした店舗向けには、薬膳烏龍茶、薬膳紅茶、薬膳プーアル茶を。若い世代のお客様が多く利用する店舗には、華やかなローズ＋ライチのブレンドティーや香りのよい白桃烏龍茶や桂花烏龍茶のほか、SNS映えするお茶も欠かせません。また、女性のお客様がよくいらっしやる店舗には、ルイボスやローズヒップ

を、ジャスミン茶とブレンドするのもおすすめです。

なお、プーアル茶が苦手なお客様には、プーアル茶とジャスミン茶をブレンドしたお茶の人氣が高く、寒い季節のジンジャー烏龍茶、蒸し暑い季節のペパーミント烏龍茶も、ご好評をいただいています。

顧客ニーズの開拓に 活用できる可能性も!?

烏龍茶やジャスミン茶をはじめ、中国茶は日本でも日常的に飲まれています。中国茶にはさまざまな種類があり、その中にはあまり日本に馴染みのないものも多数あります。新しいものに敏感な顧客層を開拓する意味でも、ブレンドティーは効果的。

実際、ブレンドティーのニーズが高まることにより、中国茶の楽しみ方、楽しむ場は広がってきていると実感しています。この流れに乗り、新たな中国茶のファンの獲得に繋がれたらと思っています。何より、我々がさらにブレンドティーに関する知識を充実させることが、微力ながら今後の外食業界や飲料業界を応援する一助になれば幸いです。